

## 情勢報告

## ユズ部剪定講習会の開催（北川村くぶつけ集落営農組合）



熱心に説明を聞く参加者

振興センターでは、北川村くぶつけ集落営農組合ユズ部の剪定講習会を開催した（3月9日、参加者7名）。

久府付集落では、3～4年前より基盤整備された圃場にユズが新植され、組合では共同防除を実施するなど青果出荷に向けた栽培管理を行っている。

講習会では参加者のそれぞれの園地で剪定・誘引の実演を行い、生育の状況にあわせた作業のポイントについて、参加者全員で確認を行った。

これからも振興センターでは、共同防除指導など青果出荷に向けた栽培管理を引き続き支援していく。

## 24園芸年度のナス「土佐鷹」栽培面積拡大に向け推進活動



県東京事務所から消費地の「土佐鷹」の状況を説明

H23年2月～3月にかけてJA土佐あきの各集出荷場・地区ごとにナス生産者に対して、「土佐鷹」推進説明会を実施した（5ヶ所、計100名程度の参加）。説明会ではJA、園芸連等の関係機関からの説明に加え、消費地からの要請として市場関係者や東京事務所職員の講演により土佐鷹の必要性について、生産者に伝えてもらった。

振興センターからは「土佐鷹」の栽培ポイントや収量性、また他の生産者への声掛けなどを行ってもらうように要請した。

それと合わせて、3月上旬にJAからの働きかけにより、各地区でリストアップした「土佐鷹」栽培候補者に対して、面積拡大に向け関係機関で個別巡回を実施した。その途中経過として、徐々にではあるが、次年度の「土佐鷹」予定面積が増えてきている。

## 安芸市立井の口小学校で花きの出前授業



女性部会員と一緒に花束を作る

井の口小学校6年生12名に対して花きの出前授業を行った。3月10日は安芸市の花きについての授業を振興センターが行った。22日はJA土佐あき花き部安芸支部女性部会員を講師に翌23日の卒業式で自分の胸を飾るコサージュと保護者にプレゼントする花束を作成した。

これらの作業には振興センターが要請した女性部会員7名とJA土佐あき花き部安芸支部が協力し、花材や資材の手配等役割分担がうまく機能し成功した。安芸市産の花きを用いて講師陣の見事な腕前とともに児童、小学校の先生方と一緒に作業し、作品についても非常に喜ばれた。

振興センターでは今後も出前授業の要請があれば積極的に行き農業の素晴らしさを紹介していく予定である。